

投 稿 規 定

本誌は広く医学に関する総説・原著・臨床研究・症例報告・統計・業績等で未発表のものを掲載し、年1回以上発行する。

[投稿資格]

投稿は徳島赤十字病院勤務者および関係者に限る。ただし、編集委員会から依頼した者はこの限りでない。

[執筆要項]

1. 簡潔明瞭に纏めること。本文は口語体（である調）とする。できるだけ日本語で表記し、カタカナ表記や英語表記は避ける。
2. 論文の長さは、図・写真を含め、原稿用紙で総説・原著は30枚、臨床研究・症例報告は15枚をめどとする。図・写真は1枚につき原稿用紙1.5枚に換算する。
3. 論文はパソコン等で入力し、プリントした原稿と一緒にフロッピー(MO)またはCDで提出する。
4. 論文の記載順序は、次の順序で記載する。
 - 1) 表紙：題名、著者名、所属を和文と英文で併記する。
 - 2) 要旨：400字以内（総説・原著は600字以内）に目的、方法、結果等を纏めること。Key wordsを3～5個つける。
 - 3) 本文：原著、臨床研究等は次の順序で記載する。

はじめに
対象および方法
結果（成績）
考察
おわりに
 - 4) 文献：文献は引用順に右肩に文献番号^{1), 2) 6)}を付す。

著者は初出の3名まで記し、以下は和文では他、英文ではet alとする。

例 1) 大谷龍治, 日浅芳一, 木下 学, 他：中隔枝単独閉鎖による急性心筋梗塞の1例。
心臓 26：1134-1138, 1994

例 2) Berland J, Rocha P, Choussat A et al: Balloon mitral valvotomy by using the Twin-AT Catheter. Catheter Cardiovasc Diagn 28：126-133, 1993

例 3) 日浅芳一, 近藤直樹, 藤永裕之：ロングバルーンの基礎と臨床。延吉正清, 山口徹編「Interventional CardiologyにおけるNew Device」, p273-282, 三輪書店, 東京, 1995
 - 5) 図・表：図・写真・表は別に添付し、それぞれの表題は図は下方に表は上方に記す。それぞれの説明は下方に記す。
5. 原稿の採否や字句の訂正、用語の統一等は編集委員会に一任する。
6. 校正は著者校正1回とする。
7. 掲載料は無料とし、筆頭著者には別冊30部を贈呈する。